

## 中学生の放課後支援について

### 1. 支援の目的

中学生の放課後の居場所や過ごし方を区が主体となって検討・支援する。「居場所づくり」「学習支援」「部活動改革」を一体的に推進することで、子どもの健やかな成長を援助するとともに、生徒・教員のウェルビーイング（心身ともに健康で持続的に幸福な状態）を実現する。

### 2. 背景（中学生を取り巻く環境）※別紙資料参照

- ①不登校生徒数の増加
- ②少子化による部活動継続の困難さ
- ③生徒への個別ケアや望まない部活動顧問等、教員の負担増加
- ④放課後の居場所が不足

### 3. 3本の柱 ～取組み内容～

#### ①居場所づくり

地域力を活用し、家庭、学校以外のサードプレイスにより子どもを心理的に支え成長の一助とする

校内居場所モデル事業「にしまるーむ」（西池袋中学校）5月23日オープン

#### ②学習支援

放課後の時間を活用し、個別の「学びたい」気持ちに寄り添いながら、それぞれに合った学習の機会を提案する。

「としま地域未来塾」

- ・自学自習を通して学習習慣と学力の定着を図る。
- ・同年代の仲間やボランティアとのコミュニケーション、相談を通して悩みや不安の解消を図る。

「校内別室指導支援員」の配置（教育センター事業）

### ③部活動改革

子どもたちのスポーツ・文化芸術環境の形成と教員の働き方改革の推進を図るため、中学校部活動の地域連携・移行に向けて取組を進める

「部活動地域連携推進協議会」 5月30日 第1回開催

- ・今年度10月より「としま土曜部活」（地域クラブ）をモデル実施予定（運動部と文化部各1種目を企業、団体等により委託実施）

## 4. 沿革

- ・4月 教育部放課後対策課に中学生放課後対策グループを設置
- ・5月 「中学生放課後支援会議」を庁内に設置（教育部と関係部局）
- ・5月 「中学生放課後支援検討部会」により、3つの柱の推進を検討開始
- ・5月 「部活動地域連携推進協議会」を設置
- ・5月 校内居場所「にしまるーむ」オープン
- ・6月 令和5年度「としま地域未来塾」開校

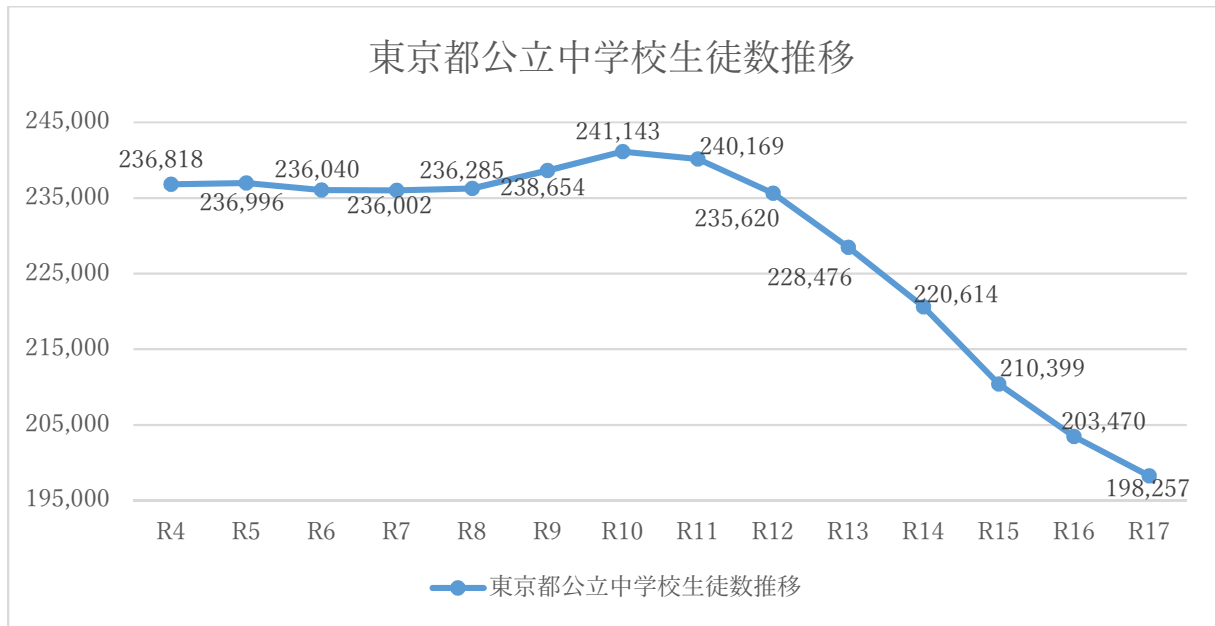
## 5. 今後の予定

- ・7月 としま子ども会議で「放課後の過ごし方」を子供から意見聴取
- ・7月 第2回部活動地域連携推進協議会
- ・10月 としま土曜部活モデル事業実施

① 不登校生徒数の増加（中学生不登校生徒数の推移）

	令和元年	→	令和4年
不登校生徒数	109人	→	206人
出現率	4.36%	→	7.58%

② 少子化による部活動継続の困難さ（東京都データ）



※東京都公立中学校生徒数の推計（令和4年度教育人口等推計（速報値）の概要）

③ 生徒への個別ケアや望まない部活動顧問等、教員の負担増加  
（豊島区立中学校休日部活動の状況）

	土日の活動【部活単位】（部）				土日の活動【部員単位】（人）			
	部活数	活動有	活動無	活動率	部員数	活動有	活動無	活動率
運動部	47	38	9	80%	1,422	1,229	193	86%
文化部(吹奏楽)	8	6	2	75%	202	141	61	70%

④ 放課後の居場所が不足（豊島区内の居場所）

	名称	設置数
小学生	子どもスキップ	22か所
	学校校庭開放	22か所
中学生	中高生センター ジャンプ	2か所
	校内居場所 にしまるーむ	1か所(西池袋中)
	学校開放(体育館個人使用枠)	1か所(池袋中)日曜日午後